

# 平成22年度事業報告書

自平成22年7月1日 至平成23年6月30日

一般財団法人 日本文化興隆財団  
(旧 財団法人 国民精神研修財団)

一般財団法人 日本文化興隆財団（旧：財団法人国民精神研修財団）

平成22年度事業報告書

自平成22年7月1日 至平成23年6月30日

## 事業概要

### 1、セミナーなど研修事業の展開について

#### （1）日本の伝統精神と文化を伝える活動

##### ①「田んぼ学校」開校

日本の伝統精神、文化と切り離すことが出来ない「米作り」を体験して学ぶ「田んぼ学校」を継続開催した。同学校では稲作体験はもとより、米の歴史や信仰、植物学的な面からもアプローチする「日本人とお米」を再発見する米の総合学習をおこなっている。22年度は平成22年10月に稲刈り、平成23年6月に田植えを行ったが、東日本大震災の影響と小、中学校において土曜日の授業が一部再開となったことが影響し、田植えの参加者は約40人に半減した。10月1日には予定通り稲刈りをおこなう予定であるが、永續開催に向けて今後状況を見極めながら対策を講じて参りたい。また、茂木貞純國學院大學神道文化学部教授の協力の下、同事業のテキストとして制作している絵本『いただきます』も引き続き好評を博している。

《会場》埼玉県熊谷市・古宮神社及び近接圃場

《主催》(財)国民精神研修財団

《日程》平成22年10月 9日(土) 稲刈り

平成23年 6月11日(土) 田植え

平成23年10月 1日(土) 稲刈り(予定)

《対象》中学生以下の子供とその保護者

《参加者》各回約80人(6月の田植えは約40人)

##### ②日本文化再発見セミナー「新緑の鎌倉を歩く」

毎年開催している同セミナーは東日本大震災を受けて、平成22年度は、東京近郊での日帰りセミナーとして継続を図った。古都鎌倉にて、平安時代末期から鎌倉時代にかけて発生した浄土思想の普及や禅宗の伝来によって新しく成立した仏教各宗派の歴史や文化遺産、また、武家精神のよりどころとなり、国家鎮護の神として創建された鶴岡八幡宮を巡る鎌倉文化探訪ツアーとして一般社会人を中心に約40人が参加した。

《場所》神奈川県・鎌倉周辺地(鶴岡八幡宮・東慶寺・圓覚寺)

《主催》(財)国民精神研修財団・(社)日本国際青年文化協会

《日程》平成23年5月14日(土)

《対象》一般(社会人対象)

《参加者》約40人

##### ③日本人が生み出した心身の浄化法「祓 大祓詞を読み解く」開催

平成22年9月から平成22年12月迄毎月1回全4回に亘り、『大祓詞』の素読と解釈、書写を行う初心者向け講座を開催し、各回共約80人以上の一般参加者を得て好評を博した。

《主催》(財)国民精神研修財団

《講師》講義：小野善一郎氏(東京・湯島天満宮権禰宜)

《日程》平成22年9月27日(月)～平成22年12月27日(月)毎月1回開催

18時30分～20時

《会場》(財)国民精神研修財団研修室

《対 象》一般（社会人対象）

《参加者》各回約80人

④大人のための『古事記』基礎講座「古事記に親しむ」全12回

平成22年9月から平成23年8月迄毎月一回全12回に亙り『古事記』の原文素読を柱にした『古事記』の解釈講座を開催し、毎回約30人の一般社会人が参加して学習している。

《主 催》(財)国民精神研修財団

《講 師》講義：佐久間靖之氏（古事記に親しむ会）

《日 程》平成22年9月22日(月)～平成23年8月24日(月)毎月1回開催  
途中震災により一回休講（補講を9月に開催予定）  
18時30分～20時

《会 場》(財)国民精神研修財団研修室

《対 象》一般（社会人対象）

⑤日本を元気にする「古事記のこころ」全13回

平成23年4月から平成24年4月迄の毎月一回全13回に亙り『古事記』の字句解釈にとどまらず紙背にある「意」（こころ）の解釈を試みる講座として、毎回約70人の一般社会人が参加して好評を博している。

新たな試みとしてインターネットを利用した無料生中継を行い、毎回数百名の受講者を確認している。

《主 催》(財)国民精神研修財団

《講 師》講義：小野善一郎氏（東京・湯島天満宮権禰宜）

《日 程》平成23年4月25日(月)～平成24年4月23日(月)毎月1回開催  
19時～20時

《会 場》(財)国民精神研修財団研修室

《対 象》一般（社会人対象）

《参加者》各回約70人

⑥伝統文化セミナー「基礎講座」全4回開催

神社本庁広報センターと共催し、主にマスコミ関係者を対象にした神道基礎講座を全4回に亙り開催し、各回とも約50人のマスコミ関係者の参加を得ている。

《主 催》神社本庁広報センター・(財)国民精神研修財団

《講 師》國學院大學神道文化学部 松本久史准教授

《日 程》第1回 平成23年2月24日 「神の国」と神道 古代～中世  
第2回 平成23年5月19日 近世の「プレ神仏分離」と復古神道  
第3回 平成23年6月16日 平田国学を再評価する  
第4回 平成23年7月14日 近代の神社神道の虚像と実像  
各回16時～18時15分

《会 場》(財)国民精神研修財団研修室及び神社本庁

《対 象》一般（マスコミ関係者）

《参加者》各回約50人

(2) 地域の森を守る運動と青少年健全育成事業

①「とこわか森」の運営

地域の森を守る運動の実践の場として、林野庁が進める国有林を利用した林業体験学習施策「遊々の森」制度を活用し、神宮御用材の里である長野県木曾郡の赤沢自然休

養林内に活動地（約1ヘクタール）を定め、平成19年4月に木曾森林管理署、特定非営利活動法人木曾ひのきの森との三者協定を締結し誕生した森林保全体験施設「とこわか森」の運営を行っている。

同地では間伐、植栽、遊歩道整備などの林業体験を通じて森の多面的機能や自然環境保護育成の理解を深める環境学校等が開催できることから、広く関係団体に利用を呼びかけ、平成22年度は次の三団体が利用した。

- 1、利用日：平成22年8月10日  
団体名：神道青年全国協議会  
事業名：教化育成事業「神道少年団」  
参加数：約100人
- 2、利用日：平成22年8月24日・25日  
団体名：愛知県神社庁  
事業名：ぼくと私の神社ウォチング  
参加数：約60人
- 3、利用日：平成23年5月30日  
団体名：埼玉県さいたま市 小村田氷川神社総代会  
事業名：総代会研修会  
参加数：10名

#### ②「みんなの鎮守の森 植樹祭」募集要項の作成

同植樹祭の実施については、横浜国立大学名誉教授の宮脇昭先生の監修、指導と日本財団からの助成などの協力で、特に都市部の鎮守の森において植樹祭を開催し近隣住民の生命を守る防災の森としての機能も付加する植樹事業として鋭意準備を図っているが、平成22年4月に埼玉で試験的に開催した植樹祭のデータを基に同植樹祭の開催地募集要項及び映像をDVDに編集、制作した。

#### ③企業協力による鎮守の森保全活動の展開

当財団の鎮守の森を守る運動の展開に対し、(株)ジャパンビバレッジと(株)ポッカコーポレーションより、鎮守の森をイメージした専用自動販売機を全国の鎮守の森（神社等）に設置し、その収益金から一本あたり5円を当財団の鎮守の森を守る運動に寄付されている。寄付金は当財団が運営する「とこわか森」「みんなの鎮守の森 植樹祭」等で行われる地域の森を守る運動と青少年育成事業などに利用されている。

## 2、国民精神昂揚運動への取り組みについて

### ①国旗小旗の無償頒布事業

当財団の公益事業の柱として、毎年全国の敬神婦人会のボランティアによる協力を得て、毎年約10万本の奉製を戴き、国旗啓発事業として無償頒布を行っている。

平成22年度は67団体より101,000本を奉製戴き、35団体に対し96,796本を無償提供した。

### ②「建国メモリアル ザ・マーチングコンテスト」後援

平成23年2月11日に開催された「『建国記念の日』奉祝記念行事」には、主催団体である日本の建国を祝う会からの要請により、国旗小旗の提供、職員派遣等の助成を行うとともに、「建国メモリアル ザ・マーチングコンテスト」にも後援団体として参画し、助成金の交付及び審査員の派遣をおこなった。

《主催》建国記念の日表参道パレードコンテスト実行委員会

《後援》(財)国民精神研修財団

《協力》東京都大学吹奏楽部連盟・商店街振興組合原宿表参道櫺会・NPO法人  
日本鼓笛バンド・フォームバトン連盟

### 3、財団施設の運営について

#### (1) テナント事業

次の団体がテナントとして入居している。

101号室	(株)神社新報社 (Books 鎮守の杜)
203号室	(有) TRUTH 設計事務所
204号室	(社) 日本国際青年文化協会
205号室	(社) 全日本仏教婦人連盟
206号室	全国神社厚生年金基金

#### (2) 会議室・研修室の利用

近隣企業から各種研修会、諸会議、展示会等で多く利用され、利用数も年々順調な伸びを示している。平成22年度は前年比約25%増の198件(研修室909時間・会議室844時間)の利用があった。

### 4、物品頒布事業について

国民精神の昂揚に資するために、取扱品の頒布に努めた。

好評を博している『いただきます』『とこわか森』に続き、「生きる力」をテーマにした『もっと輝いて』、教育勅語渙発120年を記念して制作した『しあわせになる12のヒント』の2冊を続いて刊行し、青少年の教化資材として充実を図った。

#### 《主な頒布品と頒布数》

御真影額	37架	(前年比	+10架)
教育勅語額	37架	(前年比	-1架)
教育勅語浄書	77枚	(前年比	+60枚)
国旗セット	4659組	(前年比	-475組)
特注国旗	142枚	(前年比	+97枚)
卓上国旗セット(1本立)	25組	(前年比	+9組)
卓上国旗セット(2本立)	35組	(前年比	+7組)
特製額縁(大)	62架	(前年比	-21架)
特製額縁(小)	16架	(前年比	-7架)
皇室カレンダー(壁掛け式)	4207部	(前年比	-204部)
皇室カレンダー(卓上式)	787部	(前年比	+104部)
皇室紹介ビデオ・DVD	11巻	(前年比	+1巻)
絵本『いただきます』	6759冊	(前年比	-6133冊)
絵本『とこわか森』	2892冊	(前年比	-3443冊)
皇位継承の危機いまだ去らず	64冊	(前年比	-6672冊)
日本の神話教室	1024冊	(前年比	-2135冊)
CD『太陽の国』	328枚	(前年比	+228枚)
絵本『もっと輝いて』	3240冊	(前年比	-)
絵本『しあわせになる12のヒント』	7530冊	(前年比	-)
御所のお庭	196冊	(前年比	-)
特選国旗セット	9組	(前年比	-)

## 5、『皇室 Our Imperial Family』の頒布普及と皇室の尊厳護持活動について

### (1) 季刊誌『皇室 Our Imperial Family』の発行

当財団内の皇室報道協力委員会を通して、季刊誌『皇室 Our Imperial Family』を年四回、22年度は通巻48号から発売日を変更したことを受け、50号までの3号を(株)扶桑社から刊行した。50号記念特集として「両陛下の一週間」をご紹介するとともに、図らずも東日本大震災が取材中に重なったこともあり、そのご対応についても触れる内容となった。

## 庶務概要

### 1、役員等に関する事項

#### ① 役員（理事10名・監事3名）

平成23年7月1日現在

役名	氏名	役職名	備考
理事長	田中 恆清	(宗)神社本廳総長	
副理事長	小串 和夫	(株)神社新報社代表取締役社長	
理事	荒巻 禎一	(財)京都文化財団理事長	
理事	市川 伊三夫	三基商事(株)顧問	
理事	寺井 種伯	(学)國學院大學評議員会議長	
理事	吉田 茂穂	神道政治連盟副会長	
理事	松山 文彦	(財)神道文化会専務理事	
理事	福田 富昭	(財)日本オリンピック委員会副会長	
理事	三河内 賢二	元日本放送協会理事	
理事	打田 文博	公益財団法人伝統文化活性化国民協会評議員	
監事	羽中田 進	(財)山梨県交通安全協会参与理事	
監事	藤原 正克	(福)愛育福社会理事	
監事	三宅 太一郎	尾花沢市観光物産協会会長	

顧問税理士	OAG税理士法人	公益法人事業部	
-------	----------	---------	--

#### ② 評議員（13名）

役名	氏名	役職名	備考
評議員	高城 治延	神宮少宮司	
評議員	平岩 昌利	(財)新鷹会理事	
評議員	埴 東男	茨城県文化財保護協会会長	
評議員	吉田 源彦	日本ボーイスカウト北海道連盟相談役	
評議員	緒方 久信	(株)ゆほか取締役	
評議員	石上 紀男	三重県神社庁長	
評議員	宮川 脩	日本会議福井理事長	
評議員	永江 則英	鳥取市遺族連合会理事	
評議員	十亀 興美	(宗)石鎚本教管長	
評議員	西高辻 信良	(財)日本博物館協会評議員	
評議員	川上 親昌	日本会議鹿児島会長	
評議員	下条 進一郎	(社)近代経済研究所会長理事	
評議員	国分 正明	公益財団法人修養団理事長	

#### ③ 顧問・参与（顧問6名・参与30名）

顧問	北白川 道久	神社本庁統理	
顧問	鷹司 尚武	神宮大宮司	
顧問	岡村 正	日本商工会議所会頭	
顧問	坂口 吉一	(学)國學院大學理事長	
顧問	佐古 一洌	(学)皇學館理事長	
顧問	越智 通雄	元衆議院議員	

参 与	中 山 高 嶺	埼玉県神社庁庁長	
参 与	奥 澤 公 慶	群馬県神社庁庁長	
参 与	杉 山 林 繼	千葉県神社庁庁長	
参 与	石 原 敬 士	栃木県神社庁庁長	
参 与	千 葉 博 男	宮城県神社庁庁長	
参 与	足 立 正 之	福島県神社庁庁長	
参 与	西 舘 勲	岩手県神社庁庁長	
参 与	島 浦 千 晴	青森県神社庁庁長	
参 与	面 山 浩 康	秋田県神社庁庁長	
参 与	櫻 井 豊 彦	静岡県神社庁庁長	
参 与	宇 都 宮 精 秀	岐阜県神社庁庁長	
参 与	藤 井 茂 信	長野県神社庁庁長	
参 与	小 林 直 毅	新潟県神社庁庁長	
参 与	高 井 良 直	石川県神社庁庁長	
参 与	尾 崎 定 輝	富山県神社庁庁長	
参 与	岳 尋 幸	滋賀県神社庁庁長	
参 与	西 川 秀 紀	和歌山県神社庁庁長	
参 与	青 木 義 興	鳥根県神社庁庁長	
参 与	笹 井 和 男	岡山県神社庁庁長	
参 与	追 林 昌 弘	広島県神社庁庁長	
参 与	野 村 清 風	山口県神社庁庁長	
参 与	金 倉 文 雄	徳島県神社庁庁長	
参 与	松 岡 弘 泰	香川県神社庁庁長	
参 与	山 村 稔 晴	高知県神社庁庁長	
参 与	池 田 剛 康	長崎県神社庁庁長	
参 与	神 日 出 男	大分県神社庁庁長	
参 与	武 雄 哲 司	佐賀県神社庁庁長	
参 与	宇 野 正 輝	熊本県神社庁庁長	
参 与	杉 田 秀 清	宮崎県神社庁庁長	
参 与	末 安 大 孝	沖縄県神社庁庁長	

④皇室報道協力委員会（7名）

役 名	氏 名	役 職 名	
委員長	平 沼 赳 夫	元経済産業大臣・衆議院議員	
委 員	大 高 時 男	元内閣情報調査室長・元皇宮警察本部長	
委 員	田 尾 憲 男	鉄道情報システム(株)務取締役	
委 員	福 田 富 昭	(財)日本オリンピック委員会副会長	
委 員	池 永 達 雄	元宮内庁侍従職(侍医長)	
委 員	宮 田 育 三	元東京国税局調査部長	
委 員	打 田 文 博	公益財団法人伝統文化活性化国民協会評議員	

## 2、諸会議

### ①理事会

#### ○定例理事会

日 時 平成22年9月7日（火）午後2時～3時

場 所 神社本庁地下一階会議室

出席理事 14名

会議事項【報告事項】

- ・季刊誌『皇室』の頒布状況について
- ・理事の異動について
- ・公益法人制度改革に伴う一般財団法人への移行について

【審議事項】

- ・平成21年度事業報告について
- ・平成21年度決算について
- ・評議員の異動について
- ・参与の異動について
- ・定例評議員会について

#### ○臨時理事会

日 時 平成23年2月8日（火）午後4時～5時

場 所 神社本庁地下一階会議室

出席理事 15名

会議事項【審議事項】

- ・当財団の新名称案について
- ・一般財団法人移行に伴う定款変更案について
- ・一般財団法人移行に伴う役員の選任等について
- ・一般財団法人移行後最初の評議員の選任方法等について
- ・一般財団法人移行のための認可申請について
- ・平成22年度事業別収支予算書について
- ・臨時評議員会開催について

#### ○定例理事会

日 時 平成23年5月11日（水）午前11時～午後12時

場 所 神社本庁地下1階会議室

出席理事 14名

会議事項【報告事項】

- ・季刊誌『皇室』の頒布状況について
- ・一般財団法人移行の進捗状況について
- ・神社本庁関係財団合併協議会について
- ・役員の異動について

【審議事項】

- ・平成22年度補正予算（案）について
- ・平成23年度事業計画（案）について
- ・平成23年度予算（案）について
- ・評議員の異動について
- ・一般財団法人移行後の当財団ロゴマーク並びに英文表記について
- ・一般財団法人移行後の委員会規則変更案について
- ・定例評議員会について

## ②監事会

### ○定例監事会

日 時 平成22年8月20日（金）午後2時30分～午後3時30分

場 所 神社本庁3階会議室

出席者 監 事 : 羽中田 進・藤原正克・三宅太一郎

顧問税理士: 大野公義

副理事長 : 田中恆清

- 会議事項
- ・平成21年度予備監査報告
  - ・平成21年度事業及び決算報告
  - ・諸帳簿・伝票等照合
  - ・平成21年度監査報告書署名

### ○定例監事会

日 時 平成23年2月25日（金）午後1時～午後2時

場 所 神社本庁3階会議室

出席者 監 事 : 羽中田 進・藤原正克・三宅太一郎

顧問税理士: 大野公義

常務理事 : 小串和夫

- 会議事項
- ・平成22年度予備監査報告（中間監査）
  - ・平成22年度事業及び決算中間報告
  - ・諸帳簿・伝票等照合
  - ・平成22年度中間監査報告書署名

## ③評議員会

### ○定例評議員会

日 時 平成22年9月17日（金）午後3時10分～午後4時

場 所 神宮会館3階大講堂

出席者 53名

会議事項 **【報告事項】**

- ・季刊誌『皇室』の頒布状況について
- ・評議員の異動について
- ・参与の異動について
- ・公益法人制度改革に伴う一般財団法人への移行について

**【審議事項】**

- ・平成21年度事業報告について
- ・平成21年度決算について
- ・理事の異動について

### ○臨時評議員会

日 時 平成23年4月4日（月）午後3時

場 所 財団法人国民精神研修財団会議室

出席理事 50名

会議事項 **【審議事項】**

- ・当財団の新名称案について
- ・一般財団法人移行に伴う定款変更案について
- ・一般財団法人移行に伴う役員の選任等について
- ・一般財団法人移行後最初の評議員候補者の推薦について
- ・一般財団法人移行のための認可申請について

- ・平成22年度事業別収支予算書について

○定例評議員会

日 時 平成23年5月24日(火) 午後3時～午後3時50分

場 所 神社本庁2階大講堂

出席者 55名

会議事項【報告事項】

- ・季刊誌『皇室』の頒布状況について
- ・一般財団法人移行の進捗状況について
- ・神社本庁関係財団合併協議会について
- ・評議員の異動について

【審議事項】

- ・平成22年度補正予算(案)について
- ・平成23年度事業計画(案)について
- ・平成23年度予算(案)について
- ・役員 of 異動について
- ・一般財団法人移行後の当財団ロゴマーク並びに英文表記について
- ・一般財団法人移行後の委員会規則変更案について

④最初の評議員選定委員会

日 時 平成23年4月12日(火) 午後1時～午後1時30分

場 所 財団法人国民精神研修財団会議室

出席者 評議員選定委員5名

会議事項 ・最初の評議員選任の件

⑤運営委員会

○第1回運営委員会

日 時 平成22年9月2日(木) 午後1時

場 所 神社本庁3階会議室

出席委員 5名

会議事項 ・平成22年度定例理事会提出議案について

○第2回運営委員会

日 時 平成23年1月27日(木) 午後1時

場 所 神社本庁3階会議室

出席委員 5名

会議事項 ・平成22年度臨時理事会提出議案について

以 上